

# 高 新 Shinsho 翔

## 進路アゼンブリー

進路指導部では、3年生(132名)を対象に進路別のアゼンブリーを実施した。専門学校には23名、看護学校17名、四年制および短期大学16名、就職には最も多い64名が参加した。

進学希望者を対象とした専門学校・看護学校・四年制および短期大学では、将来就きたい職業を考えて学科を選ぶことや学校選び、教科毎の学習方法や学習時間の確保等についての説明があった。就職アゼンブリーは会場となった会議室が満席になるような状況で、就職試験が始まる9月までの3ヶ月間の日程、就職試験や社会人になることへの心構え、求人票の見方等について説明を受けた。生徒たちは、自分の進路を実現するために、説明する教員の話しに耳を傾けていた。



6月中旬・下旬

## 思春期講座開催

2年生を対象に新宮保健所の協力を得て思春期講座を開催。この講座は、あふれる性情報の中で高校生が性に関する正しい知識を学び、仲間に情報を伝達しながら正しい行動を起こせるようにすることを目的に毎年実施している。まずは全員が、貝岐保健師、中住医療技師から男女の性差、妊娠の成り立ち、避妊、性感染症、HIV(ヒト免疫不全ウイルス)などについて学習した。その後、保健委員と体育委員が参加してグループワークを行った。男女別の3グループに分かれ、それぞれ保健所のスタッフも加わってのピアエデュケーション(仲間同士の勉強会)では、避妊方法や高校生としての愛情表現のあり方などについて自分の考えをポストイットに書き出して話し合った。



7月12日(月)

## 第3回和歌山県教育委員会井戸端トーク実施

地域や保護者、学校関係の方々約140名が参加し、光洋中学校で5限目、新翔高校で6限目の授業見学の後、3つの分散会で共通のテーマについて話し合いがなされた。テーマは「地域とつくる元気な学校について」と「学力・体力の向上」で、各分散会場で熱いトークが展開された。全体会では、各分散会でのトークの報告がなされた。各分散会での共通のキーワードは、「挨拶の大切さ」で、元気な学校とは、生徒も先生も挨拶がしっかりでき、生徒だけではなく、先生にも笑顔のある学校、自分の意見を言える学校、弱者を支援していける学校、生徒・教師・学校が本気で話し合える学校、夢や希望を持てる学校、先生が元気な学校等であった。



7月15日(木)

## 1学期終業式

七瀧校長は、「過ちて改めざる、これを過ちという」という言葉を用い、人生の過ちについて、今気づくのか、数年後に気づくのか、さらには気づかないまま歳を重ねてしまうのかで将来が変わってくると述べ、1学期で足りなかったところを深く反省し、目的を持って夏休みを過ごすことで成長できると語りかけた。また、クラブ活動の活動状況について触れ、高校総体による多くの生徒の活躍が学校を活性化していること、そして、より多くの生徒がクラブ活動に取り組み、日々の練習に励んでほしいと述べた。最後に進路実現について厳しい経済状況の中で自分の進路を実現していくために今、やるべきことにしっかり取り組むことの大切さを述べた。



7月20日(火)

# 8月トピックス

- 4日(水)・・・図書館一般開放
- 5日(木)・・・中間登校日・進学模試1年～3年・公務員模試・就職AS
- 6日(金)・・・中学生体験学習
- 18日(水)・・・図書館一般開放
- 19日(木)・・・防災スクール(串本高校)
- 25日(水)・・・2学期始業式・登下校指導
- 26(木)～27日(金)・・・登下校指導